

お金を儲けられる奈良県へ

「お金より愛情が大事」というのは一面の真理ですが、「愛情もお金も大事」「お金は沢山あればあるほどいい」というのが、平均的な県民の意識ではないでしょうか。ところが、統計上、奈良県民の貯蓄は多いものの所得は大きく減っています。2019年度の調査では県民の1世帯あたりの貯蓄現在高は1,565万円で全国2位ですが、同じ年の調査で県民一人当たりの所得は273万円で全国36位にとどまっています。そして、2022年と30年前の1992年を比べて、県民の一人当たりの所得は約20%減少し、その下落率は全国最悪となっています。これでは、奈良県で育った若者もお金の儲けられる職場を求めて県外にどんどん出て行ってしまいます。

古来、政治の最も重要な仕事は民を飢えさせないこと、現代風に言えば、所得を増やすことですが、この状況では「これまで奈良県の政治は何をやっていたのか!」とお叱りが聞こえてきそうです。「お金を儲けられる奈良県」にするには、まず、県内企業に儲けてもらい、県外から儲けている企業を誘致し、そして、雇用を増やし、給料を上げてもらうことです。また、仕事と家事育児の両立を可能にするための環境整備も重要です。これらを実現するために、奈良県ではさまざまな取り組みを始めています。詳細は、こちらをご覧ください。



奈良県知事
山下 真



奈良県の
取り組み

毎月11日は人権を確かめあう日

人権 コーナー



ていいち先生 ひかりちゃん

12月4日～10日は「安心してご相談ください」人権週間です

世界の全ての人々と国々が達成すべき共通の基準として、1948年12月10日の国際連合総会において「世界人権宣言」が採択され、12月10日を「人権デー (Human Rights Day)」と定めています。日本では「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、さまざまな人権啓発活動を実施しています。

しかしながら、いじめや虐待・部落差別など多様な人権問題は依然として存在し、この夏開催されたパリオリンピックでも、SNS上に選手・審判に対し8,500件を超える誹謗中傷が投稿され、選手・審判は心を痛め、社会問題となりました。

皆さんの周りでSNS上での書き込み、日常生活や対人関係で心を痛めている人はいませんか? 県人権施策課の人権

相談窓口では、相談員がお話を伺い、必要に応じて他の相談機関も紹介しながら、少しでも心が落ち着くお手伝いをしています。また、臨床心理士・公認心理師による「こころの健康相談」(要予約)を毎月第2火曜日11時～15時(12月は第1火曜日)に実施しています。一人で悩まず安心してご利用ください。

☎0742-27-8726 (開庁日の8時30分～17時15分)

今月の標語&ポスター



三郷町立三郷中学校1年
したばやし みま
下林 美舞さん

平和とは
どうなったなら
平和なの

奈良県立高等養護学校3年
たかだ ひであき
高田 秀章さん

※学校名・学年は作品作成時のものです。

県の情報はこちらでもご覧いただけます

テレビ番組 (奈良テレビ)



ならフライデー9 生放送
毎週金曜 20:57～21:57



県政フラッシュ
毎週日・火曜 21:54～22:00



Origin～私の原点、奈良～
11月9日(土) 21:00～21:15

過去の放送番組はYouTubeチャンネルからご視聴いただけます。 YouTube 奈良県公式総合チャンネル

県政ラジオ番組 ～県政NEWSなら～

ならどっとFM (78.4MHz)
毎週月・木曜 11:15～
[再]18:20～

FMハイホー (81.4MHz)
毎週月・木曜 11:55～
[再]16:25～

FM五條 (78.0MHz)
毎週月・木曜 11:30～
[再]18:00～

FMヤマト (77.5MHz)
毎週月・木曜 11:55～
[再]18:55～

FMまほろば (79.5MHz)
毎週月・木曜 10:55～
[再]16:55～

SNS

Facebook
まるごと
奈良県



X
奈良県
公式



LINE
奈良県
公式



奈良県広報担当
VTuber
『奈々鹿』



県民お役立ち
情報コーナー
パンフレットなどを配置しています

県庁舎食堂 (奈良市) 県産業会館 (大和高田市) ★ 県糧原総合庁舎 (橿原市) ★
県立図書館情報館 (奈良市) ★ 市町村会館 (橿原市) 吉野町中央公民館 (吉野町) ★
★印のある場所および県庁舎屋上階には、専用紙で県政に関してのご意見・ご提案をお寄せいただく「県政ポスト」も配置しています。

問 県広報広聴課
☎0742-27-8326
FAX 0742-22-6904

10月号の知事コラム「一念通天」に掲載した「図1 M5.0以上の地震発生回数」のグラフの2016年は11回ではなく7回の誤りでした。お詫びして訂正します。